【仮訳】

＊ あくまでも筆者作成の仮訳であり、
　翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

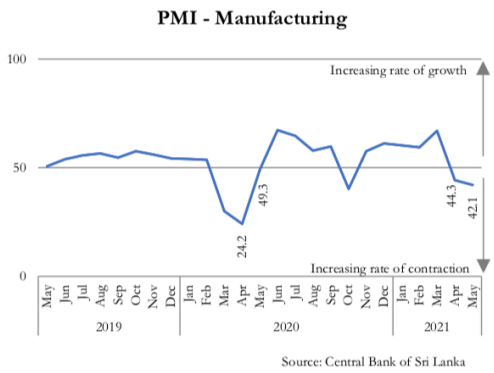
2021 年 6 月 15 日

スリランカ購買担当者景気指数（PMI）- 2021 年 5 月

5 月 PMI は製造業・サービス業双方で低下

5 月の製造業は、COVID-19 パンデミック第三波の影響を受け縮小。製造業 PMI は 42.1 を記録。主に、生産、雇用、新規受注、購買在庫の各指標の大幅な低下による。

生産は、食品・飲料製造業や繊維・アパレル製造業を中心に大きく低下。無断欠勤の増加が続き、雇用も低下。加えてこれらの部門の多くが、5 月中旬に実施された移動制限により従業員の確保が大幅に低下したため、生産計画に大きな支障が生じたと回答。



指標	4 月	5 月	+/-	概要
PMI	44.3	42.1	-	大幅に縮小
	PMI サブ指標			
新規受注	44.3	42.4	-	大幅に縮小
生産	33.0	27.9	-	大幅に縮小
雇用	44.9	38.4	-	大幅に縮小
購買在庫	40.9	36.0	-	大幅に縮小
サプライヤー納期	64.8	73.8	-	大幅に延期

世界概況：製造業 PMI

2021 年 5 月のグローバルでの製造業 PMI は、前月比 0.2 ポイント上昇の 56.0 を記録。

2021 年 5 月の製造業 PMI は、英国、米国、ロシア、ユーロ圏、中国の上昇率が高く、インドの上昇率は鈍かった。

出展： Markit1（2021 年 6 月 14 日）

新規受注高が減少。祭事需要終了とパンデミックの再燃により特に食品・飲料製造業で減少。原材料の累積在庫の悪化と合わせ、購買庫が減少。

2021 年 5 月には、主に輸入品と国内調達品の入荷の遅れから、サプライヤーの納期がさらに延びた。回答者の多くは、運賃上昇が輸入原材料のコストを押し上げ、利益率に悪影響となっていると強調。

COVID-19 ワクチン接種の進展や移動制限によるパンデミック抑制に支えられ、今後数か月での経済活動が正常化するとの前向きな期待感から、次の 3 か月間の製造業活動の期待指標は上昇。

【仮訳】

＊ あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

2021 年 5 月のサービス業 PMI は、COVID-19 パンデミックの第三波の拡大に伴い 39.5 とさらに低下、2020 年 4 月以来の低水準を記録。新規事業、企業活動、雇用、活動への期待の悪化による。

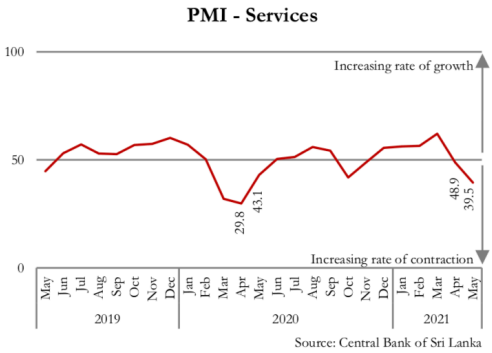
Services PMI
Index Value
39.5
Decrease of 9.4 index points compared to April 2021

サービス部門の新規事業は、2021 年 4 月と比べ縮小ペースが速く、ほとんどのサブセクターで縮小が見られた。しかし保健活動セクターでは、COVID-19 治療センターの新設から改善が見られた。

サービスセクターのビジネス活動は、2021 年 5 月に急激に縮小。COVID-19 パンデミック第三波による移動制限が課されるなか、非必需品の需要減と事業活動の制約による。卸売・小売業、その他個人的活動や宿泊施設、飲食業、専門サービス業の各セクターが、全体の縮小に影響。一方、保健活動、IT プログラミング・コンサルタントと関連セクターは前月と同水準。

2021 年 5 月の雇用者数は、新規採用がないなか、退職者や契約満了者の増加により減少が続いた。

2021 年 5 月は後半に地域的なロックダウンと全国での移動規制が課され、業務の滞留がさらに増加。



世界概況：サービス業 PMI

2021 年 5 月のグローバルでのサービス業 PMI は、前月の 57.0 から 59.4 に上昇し、世界のサービス活動の拡大を示した。

2021 年 5 月の製造業 PMI は、米国、中国。英国は前月比で拡大したが、インドと日本が悪化した。

出展： Markit1（2021 年 6 月 14 日）

指標	4 月	5 月	+/-	概要
PMI	48.9	39.5	-	大幅に下落
	PMI サブ指標			
新規ビジネス	48.9	36.3	-	大幅に下落
ビジネス活動	47.9	28.9	-	大幅に下落
雇用	48.4	32.8	-	大幅に下落
業務滞留	54.4	60.9	-	大幅に下落
事業活動への期待	44.7	38.6	-	大幅に下落

COVID-19 パンデミック激化による成長見通しへの不安から、今後 3 か月間のビジネス活動への期待はさらに弱まった。